

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

くこうみの島 あわじ環境未来島雇用創出計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市

3 地域再生計画の区域

洲本市、南あわじ市及び淡路市の全域

4 地域再生計画の目標

(1) 地域の現状

ア 地域の人口

兵庫県（全県）の人口は、1980～2010の30年で8.6%増加したが、一方で、淡路地域においては15.6%減少した。平成17年国勢調査時における65歳以上人口の比率は、27.4%と既に4分の1を超えており、地域経済の担い手である生産年齢人口（15～64歳）は、急速に減少し、30年後には半減する恐れもある。

〈人口の推移（1980年－2010年）〉

国勢調査

	1980年	2010年（速報値）	増減率
兵庫県計	5,144,892	5,589,117	8.6%
淡路	170,220	143,589	△15.6%

〈将来人口と年齢別構成比・推計〉

平成17年の人口構成

H17.10.1国勢調査

	総人口	年齢別構成比（%）			労働力人口	労働力率 （労働力人口／15歳以上人口）
		0～14歳	15～64歳	65歳～		
兵庫県計	5,590,601	14.2	65.6	19.8	2,732,392	57.2
淡路	151,391	13.3	59.3	27.4	82,221	62.7

2040年（30年後）の人口予測（基準推計に基づく）

	総人口 （千人）	年齢別構成比（%）		
		0～14歳	15～64歳	65歳～
兵庫県計	4,690	9.4	52.5	38.1
淡路	93	8.6	47.3	44.1

イ 地域の経済・産業構造

淡路地域の第1次産業は、県内の1次産業の総生産の4分の1以上を占めており、地域内総生産に占める割合でも6%近くと、全国、全県と比べきわめて高い比率にある一方、第2次産業の比率が低い。

製造品出荷額で見ると、電気機械が製造業の過半数を占めているが、食料品生産も1割を超えるシェアを占めている。

地場産業は、淡路瓦、線香、真珠核、手延べ素麺等の生産などがあり、中国をはじめ海外への販路開拓の取組も始まっている。

〈経済・産業構造〉

総生産（平成20年度）

ひょうご経済雇用活性化プログラム策定戦略会議資料より抜粋

	総生産 (億円)	産業別構成比 (%)			市町民所得 (1人当たり)
		第1次産業	第2次産業	第3次産業	
兵庫県計	190,966	0.5	27.8	71.7	2,823
淡路	4,175	5.7	21.5	72.8	2,363

就業者（平成18年10月1日現在）

	就業者数	産業別構成比 (%)			就業率 (%)	完全失業率 (%)
		第1次産業	第2次産業	第3次産業		
兵庫県計	2,553,965	2.5	27.1	68.2	53.5	6.5
淡路	78,431	19.4	25.4	54.6	59.8	4.6

〈域内でシェアの高い製造品目〉

H21年工業統計

	1位	シェア (%)	2位	シェア (%)	3位	シェア (%)
兵庫県計	鉄鋼	12.4	化学	10.7	電気機械	9.9
淡路	電気機械	51.8	食料品	12.7	生産用機械	8.3

(2) 地域の課題

第1次産業は、天候に左右されたり、同じ生産物を市場に出すだけでは自分で価格設定できない受身の立場に置かれるなど、不安定な状況が付きまとう。こうした状況を打破し、好転への流れを生み出すためには、地域経済の基盤となる農林水産業や伝統産業を含む産業構造の改善・改革が必須であり、それは地域全体の活性化に不可避の道筋である。雇用創出の形態も、世界経済の影響を受けやすい企業誘致や工場誘致ではなく、自発内発型にシフトにできるかにかかっているといても過言ではない。

多くのポテンシャルを秘めた素材を多く持つ淡路島は、その素材を生かすイノベーション能力（例えばマネジメント能力、デザイン能力、企画能力、プロデュース能力等の総合的な力）を身につけた人材の育成が急務となっている。

また、同時に、起業の少ない地域において、自発的な起業は雇用創出の点で不可欠である。その場合においても、淡路島の豊かな素材を生かしビジネスに結びつけるためには、イノベーション能力を身につけることが重要になる。

(3) 取組の方向性

ア 域外から資金を得る産業の確立

今後、人口が減少し、高齢化が進む淡路島において、地域の基幹産業をどう確立するのか、既存の産業をどのように維持、発展させ、域外からのお金を稼ぎ、地域の生活の質を維持するかが課題となっていることから、地域資源型産業の創出を図

るとともに、こうした産業において必要となる人材の育成に努める。

イ 農水産業の6次産業化

農水産業の担い手の確保、効率化による生産の維持・確保とともに、農商工連携・6次産業化などにより、豊かな農水産物などの食材を活かした新たなアイデアによる加工品の開発、新機軸のブランド化などを進めるとともに、こうした産業において必要となる人材の育成に努める。

ウ 観光・ツーリズム事業の振興

観光産業を地域の基幹産業へと振興するため、淡路地域の特色・魅力を活かした長期滞在体験型ツアー商品の品質の向上、新しい企画の開発に努めるとともに、より質の高い接客技術やおもてなしの心を身につけた人材の育成に努める。

エ 環境先進地域に向けた全島挙げての取組を通じた産業振興、地域活性化

少子高齢化、経済の縮小といった地方に共通する課題を抱える淡路島から、「淡路島をエネルギーと食と水を自給自足する島」「子どもから高齢者までが充実して生活を送れる健康長寿の島」の実現を目指し、「エネルギーの持続」「農と食の持続」「暮らしの持続」の3本柱の取組を通じて地方活性化の成功モデルを全国に向けて提案する「あわじ環境未来島構想」が進められている。

今後、この構想に基づき、持続可能な地域づくりに向けて、再生可能エネルギーや電気自動車の普及、農の生産性向上や暮らしの安心のためのICTなど最先端技術の活用などの相互に関連するプロジェクト群を展開し、地域活性化モデルを構築するとともに、これらの取組において必要となる人材の育成に努める。

(4) 目標設定

地域雇用創造推進事業（厚生労働省）の実施により、以下のとおりアウトプット指標及びアウトカム指標を定める。

ア アウトプット指標

(7) 雇用拡大メニュー（利用企業数）

事業者を対象としたセミナーを開催し、48社（2年度目24社、3年度目24社）の参加を目指す。

(イ) 人材育成メニュー（利用者数）

地域求職者等を対象とした研修会を開催し、480人（2年度目240人、3年度目240人）の参加を目指す。

(ウ) 就職促進メニュー

事業者と地域求職者等のマッチングを図るための交流会を開催し、地域求職者等100人（2年度目50人、3年度目50人）の参加を目指す。

イ アウトカム指標

人材育成メニューの実施による就職者数106人（2年度目53人、3年度目53人）、就職促進メニューの実施による就職者数10人（2年度目5人、3年度目5人）の実現を目指す。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

地域雇用創造推進事業（厚生労働省）を活用し、求職者向けの「人材育成メニュー」とこれに対応した事業者を対象とした「雇用拡大メニュー」を実施するとともに、両メニューを活用した事業者と求職者のマッチングを行う「就職促進メニュー」を実施する。

なお、同事業の実施に当たっては、食のブランド「淡路島」推進協議会、淡路島観光圏協議会、淡路地域人材確保協議会、淡路地域雇用開発協会等による既存の関連事業と連携を図り、相乗効果を得て地域全体での効果的な雇用の創出に努める。

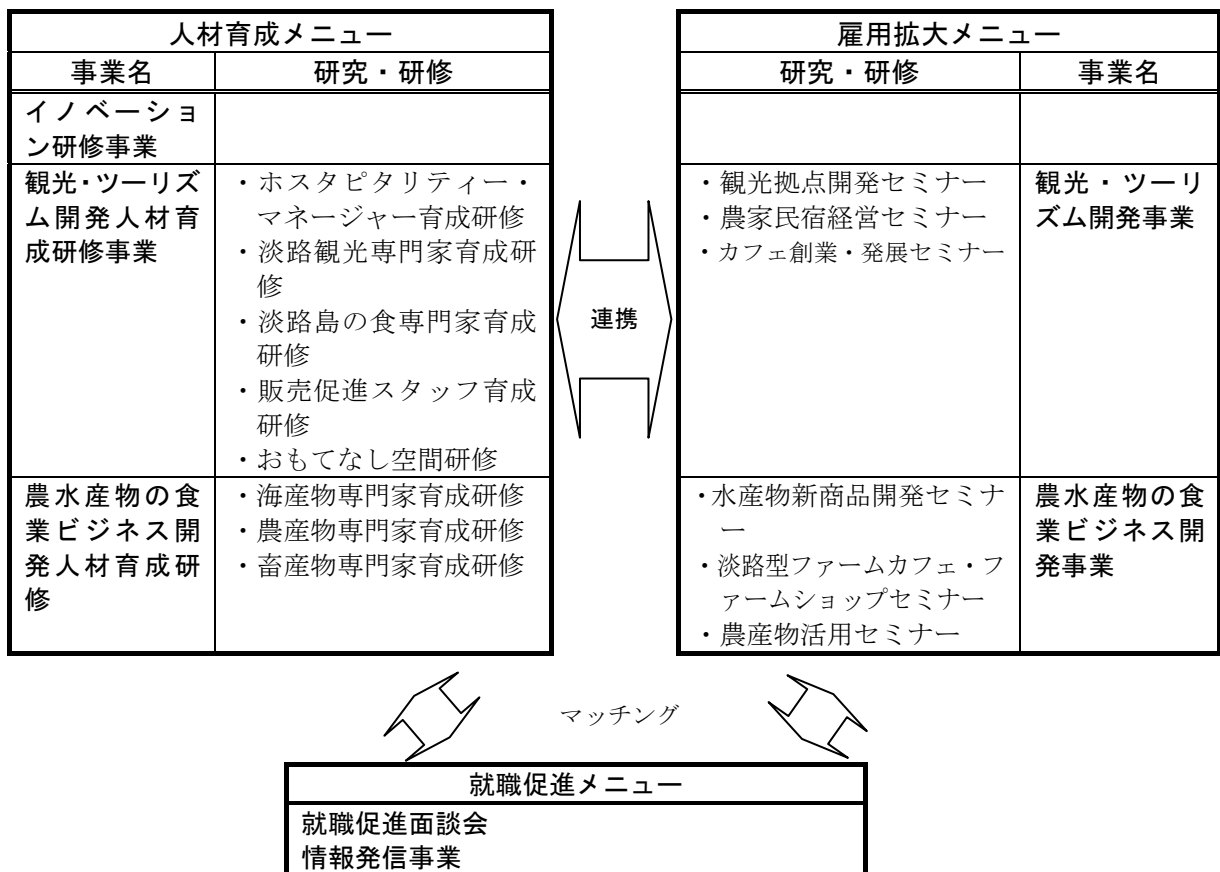
5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

5-3 その他の事業

5-3-1 基本方針に基づく支援措置

【B0902】地域雇用創造推進事業（厚生労働省）



(1) 雇用拡大メニュー

ア 観光・ツーリズム開発事業

(ア) 事業内容

淡路島は豊かな自然や食材に恵まれているが、現在は十分にその魅力を活か

しきれていない。そこで関係企業、起業予定者、商工会等を対象に、淡路地域の魅力を活かした滞在体験型ツアーの商品の企画開発、販売戦略の研究等を通して魅力的なプログラムとして確立させる工程を研修する。さらに、魅力的なツーリズムの開発により淡路島の魅力を高め、観光客を増やし、それにより新たな雇用機会の創出を図る。

(イ) 実施主体

淡路地域雇用創造推進協議会

(ウ) 研究会の内容

名 称	内 容
観光拠点開発セミナー	島の周遊に不可欠なレンタカー、レンタバイク、レンタサイクル等のサービスの提供方法について研修する。
農家民宿経営セミナー	滞在体験型ツアー商品の一つとして重視される農家民宿の運営方法を研修する。
カフェ創業・発展セミナー	淡路島らしいカフェ、飲食店のつくり方や運営方法を研修する。

イ 農水産業の食業ビジネス事業

(ア) 事業内容

淡路島では、担い手の確保、効率化による生産の維持・確保とともに、農商工連携・6次産業化などにより、1次産業の発展が望まれる。そこで関係企業、起業予定者、漁業組合、農協等を対象に、1次産業の発展の可能性を他の先進地の例を参考に学び、それぞれの地域資源が持っている魅力の再発見、再確認し、展開方法などを検討しながら、事業として確立させる工程を研修する。こうした取組により新たな需要を掘り起こし、事業拡大、新規展開を図り、新たな雇用につなげていく。

(イ) 実施主体

淡路地域雇用創造推進協議会

(ウ) 研究会の内容

名 称	内 容
水産物新商品開発セミナー	淡路島で獲れた海産物の加工方法や新商品の開発の研修を行う。
淡路型ファームカフェ・ファームショップセミナー	淡路島の農産物、農業の魅力をつたえるためのカフェ、ショップなどを展開するための方策を研修する。
農産物活用セミナー	淡路島で育った農産物（たまねぎ、トマト、アスパラ）の加工方法の検討や新商品の開発について研修する。

(2) 人材育成メニュー

(一般スキル研修事業)

ア イノベーション研修事業

(ア) 事業内容

商工業、農業、漁業等、事業分野問わず「考え方」「作り方」「見せ方」「伝え方」という総合的な研修を行う。それによりコンセプト作り、事業計画の組み立てなど、多角的な視点から、より具体的なマーケティング、広告宣伝、デザインなどの基本的な部分を身に付けることにより、就職に有利なスキルアップにつなげる。

(イ) 実施主体

淡路地域雇用創造推進協議会

(ウ) 講座の主な内容

- ・考え方・・・事業計画立案、コンセプトワークの方法、マネジメントの方法、ブランディングの方法等の研修
- ・作り方・・・プロダクトデザイン、工芸デザイン、情報デザイン、商品開発ワークショップ等の研修
- ・伝え方・・・広告宣伝基礎概論、ホームページ概論、ソーシャルメディア活用等の研修
- ・見せ方・・・デザイン概論、パッケージデザイン、ディスプレイデザイン、空間デザインの研修

(業種別スキルアップ研修事業)

イ 観光・ツーリズム開発人材育成研修事業

(ア) 事業内容

淡路島は、自然や食材など観光資源に恵まれた地域であることから、求職者等を対象に関係企業、起業予定者、と連携しながら、淡路島らしい接遇の専門家の育成と、おもてなしの精神を持った人材を育成する。

具体的には、グループワークを通じて淡路島らしさを生かした体験型観光と宿泊施設の組み合わせや連携方法を学び、就職に有利なスキルアップにつなげる。

(イ) 実施主体

淡路地域雇用創造推進協議会

(ウ) 研修会の内容

名 称	内 容
ホスピタリー・マネージャー研修	おもてなしの心や接客技術についての接客マナー研修を行う。
淡路観光専門家育成研修	淡路島の歴史、文化、地理などを知り尽くした観光業のアドバイザー育成を目的とした研修を行う。
淡路島の食専門家育成研修	淡路島の郷土料理を学び、地元食材をつかった淡路島ならではのメニューの開発を研修する。

販売促進スタッフ育成 研修	地場産業の基礎知識を学び、ブランディング、販売戦略等について、グループワークを通して研修する。
おもてなし空間研修	接客業におけるおもてなし空間の基本を学ぶ。四季折々の室礼等、淡路島らしい空間作りを研修する。

ウ 農水産業の食業ビジネス人材育成研修事業

(7) 事業内容

淡路島は、海産物、農産物等に恵まれた地域であることから、求職者等を対象に関係企業、起業予定者、農協、漁業組合、商工会等と連携しながら、専門的な知識をもとに、農水産物の開発・活用、ブランディング、販売促進ができる専門家を育成する。

具体的には、グループワークを通じて議論し、新たな商品開発、さらにはブランド化など販売戦略、特産物開発・活用方法を学ぶことにより、就職に有利なスキルアップにつなげる。

(4) 実施主体

淡路地域雇用創造推進協議会

(5) 研修会の内容

名 称	内 容
海産物専門家育成研修	淡路島の海産物の基本知識を学び、開発・活用の方法や、ブランド化など6次産業化に必要な知識・技術を研修する。
農産物専門家育成研修	淡路島の農産物の基本知識を学び、開発・活用の方法やブランド化など6次産業化に必要な知識・技術を研修する。
畜産物専門家育成研修	淡路島の畜産物の基本知識を学び、開発・活用の方法や、ブランド化など6次産業化に必要な知識・技術を研修する。

(3) 就職促進メニュー

ア 就職促進面談会

(7) 事業内容

淡路島出身者、淡路島での求職者等を対象に、企業とのマッチング促進のための就職面談会や企業説明会を積極的に行う。

(4) 実施主体

淡路地域雇用創造推進協議会

イ 情報発信事業

(7) 事業内容

協議会のホームページを開設し、求職者や企業に対する新パッケージ事業の

紹介及び募集を行う。

また、就業、創業支援事業の情報提供、関連サイトとのリンクも積極的に行なうほか、メールマガジン等による最新情報の提供、情報収集も行う。

(イ) 実施主体

淡路地域雇用創造推進協議会

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

ア 食のブランド「淡路島」の推進

(7) 事業内容

「淡路島」の食のブランド確立をめざして、淡路島の農畜水産物・加工食品の生産・流通・消費・観光が一体となって、食料生産拠点としての淡路島の魅力をさらに引き出すとともに、島内はもちろん京阪神などの大消費地で新たな需要を開拓するため、協議会を設立し推進戦略を策定したうえ、統一イメージデザインを用いた販売拡大活動や販路開拓、島内での販売拠点整備の検討、食イベントの開催、新商品の開発等を進めていく。

(イ) 実施主体

淡路島農水産関係団体、淡路島観光協会、淡路島くにうみ協会、淡路島商工関係団体、淡路市、洲本市、南あわじ市、兵庫県淡路県民局等で構成する食のブランド「淡路島」推進協議会

イ 淡路島観光圏の推進

(7) 事業内容

a 観光旅客の宿泊に関するサービスの改善及び向上に関する事業

「淡路島おもてなしの心」養成事業 等

b 観光資源を活用したサービス開発及び提供に関する事業

(a) 淡路島まるごとミュージアム構想推進事業

(b) あわじ風景・歴史浪漫街道づくり推進事業

(c) 淡路島牛井プロジェクト事業

(d) あわじ旅すごろくスタンプラリー事業

(e) 淡路島創作料理コンテスト事業 等

c 観光旅客の移動の利便の増進に関する事業

(a) 観光道路「南淡路水仙ライン」整備事業

(b) 観光道路「サンセットライン」整備事業

(c) 淡路島電動レンタサイクル事業

d 観光に関する情報提供の充実強化に関する事業

(a) 淡路広域ネットワーク会議運営事業

(b) 淡路島観光圏おもしろマップ作成事業

(c) 淡路島観光圏情報提供事業

e その他の事業

淡路島観光圏ニーズ調査事業

(イ) 実施主体

淡路島観光圏協議会、兵庫県淡路県民局、財団法人淡路島くふうみ協会、洲本市、淡路島観光協会、洲本商工会議所、淡路交通株式会社、洲本温泉事業協同組合、北淡路観光振興協議会

ウ 淡路地域人材確保協議会の取組（ふるさと人材確保ネットワーク事業）

(7) 事業内容

Uターン就職等の促進を通じて、地域企業の人材確保するため、構成団体である県民局、職業安定所、各市、商工会議所、各商工会、淡路地域雇用開発協会が連携して以下の事業に取り組んでいる。

- (a) 求人情報の把握と共有
- (b) 求人情報・企業照会情報の発信
- (c) 企業面接会等の開催
- (d) 地域の企業を知るツアーの実施
- (e) 淡路ものづくり体験ツアー

(イ) 実施主体

淡路地域人材確保協議会

エ 淡路地域雇用開発協会の取組

(7) 事業内容

事業主（会員115社）が連携して、以下の人材育成、雇用促進、労務改善等事業により、雇用安定と福祉の向上に取り組んでいる。

- (a) 新入社員激励会及びビジネスマナー研修会の開催
- (b) 労務セミナーの開催
- (c) 専門部会による事業推進
- (d) 関係機関・団体と連携した事業推進
- (e) 情報資料の発信・提供

(イ) 実施主体

淡路地域雇用開発協会

6 計画期間

認定の日から平成26年3月末まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

地元3市、県、商工会議所、商工会等で構成する「淡路地域雇用創造推進協議会」の総会等を定期的に開催して事業の進捗状況と目標の達成状況を報告し、関係者による評価を得て、必要に応じて事業実施方針を変更するなど、目標達成に向けた取組を推進する。